

調査結果の概要

1 概要

従業者4人以上の事業所については、事業所数747事業所、従業者数32,081人、製造品出荷額等1兆2,367億3,097万円となっています。平成25年と比べて、事業所数は27事業所(対25年増減率△3.5%)の減少、従業者数は183人(同0.6%)の増加、製造品出荷額等は1,100億3,276万円(同9.8%)の増加となりました(図1-1-1)。

軽工業と重化学工業に分けてみると、軽工業は9事業所(同△2.2%)の減少、従業者数24人(同0.2%)の増加、製造品出荷額等319億5,911万円(同7.3%)の増加となりました(図1-1-2)。重化学工業は18事業所(同△5.0%)の減少、従業者数159人(同0.9%)、製造品出荷額等は780億7,365万円(同11.4%)の増加となりました(図1-1-3)。

図1-1-1 事業所数、従業者数、製造品出荷額等の

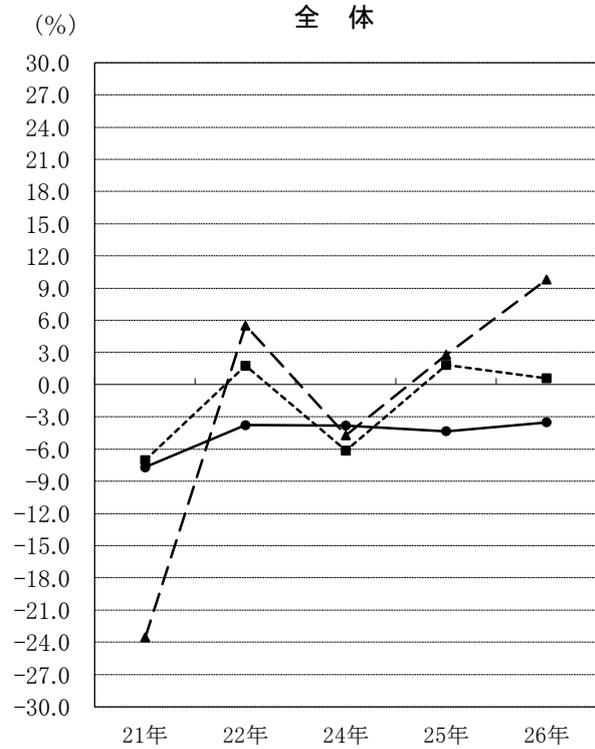


図1-1-3

図1-1-2

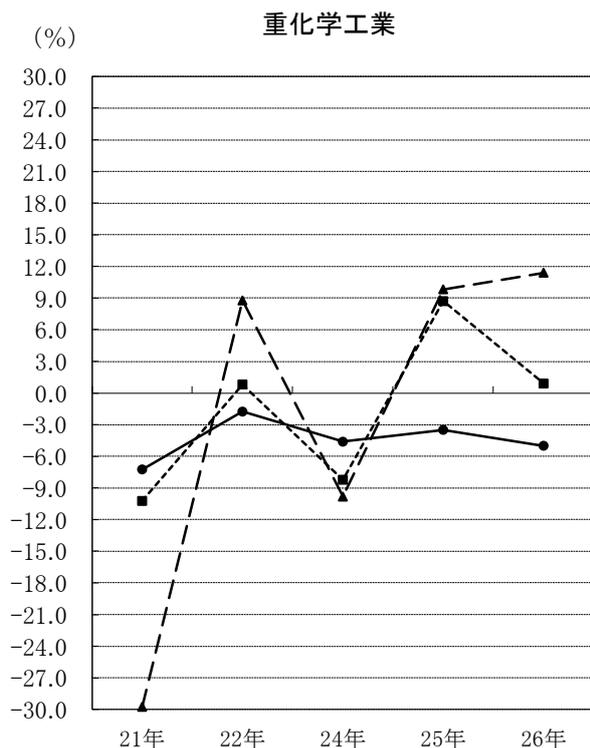
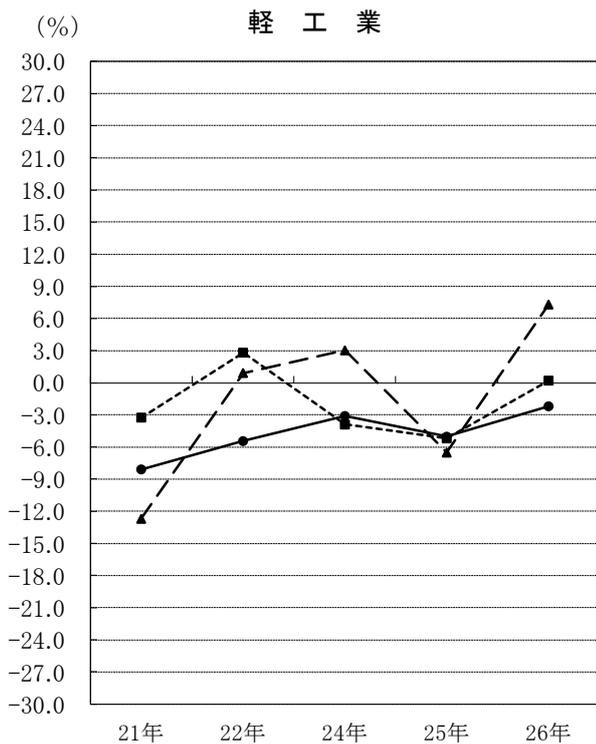
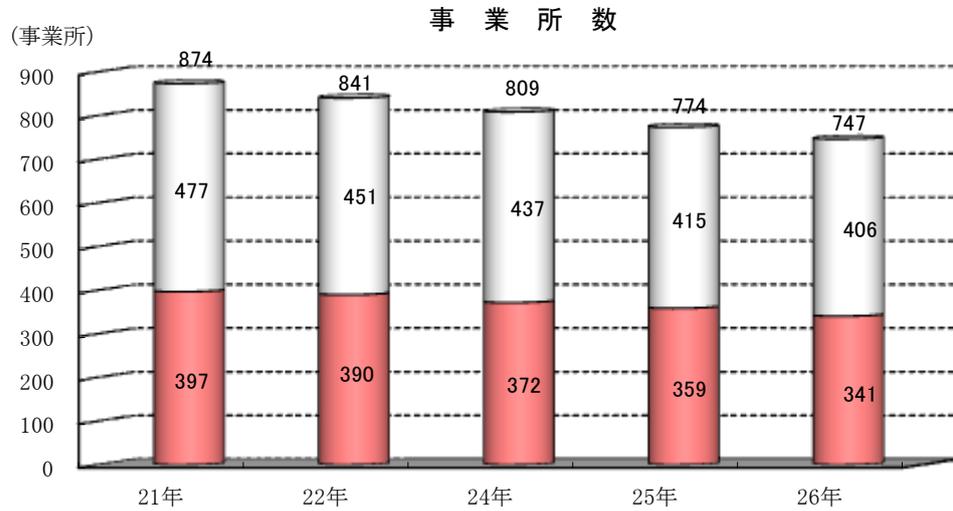


図1-2 事業所数、従業者数、製造品出荷額等の推移

軽工業
 重化学工業



2 事業所数

従業者4人以上の事業所数は747事業所で平成25年と比べて27事業所(対25年増減率△3.5%)減少しました。

(1) 産業中分類別

産業別でみると、食料品が107事業所(構成比14.3%)で最も多く、次いで輸送機器89事業所(同11.9%)、生産用機器76事業所(同10.2%)、金属製品64事業所(同8.6%)、繊維工業47事業所(同6.3%)の順となっています。

軽工業と重化学工業に分けてみると、軽工業は406事業所(構成比54.4%)、重化学工業は341事業所(同45.6%)となっています。

(2) 従業者規模別

従業者規模別でみると、従業者数4~29人の小規模層は567事業所(構成比75.9%)、30~299人の中規模層は161事業所(同21.6%)、300人以上の大規模層は19事業所(同2.5%)となっています。市内の事業所の7割以上を小規模層が占めています。

(3) 小学校区別

小学校区別でみると、大崎が73事業所(構成比9.8%)で最も多く、次いで二川南62事業所(同8.3%)、吉田方59事業所(同7.9%)、牟呂34事業所(同4.6%)、玉川29事業所(同3.9%)の順となっています。

図2-1 産業中分類別事業所数構成比

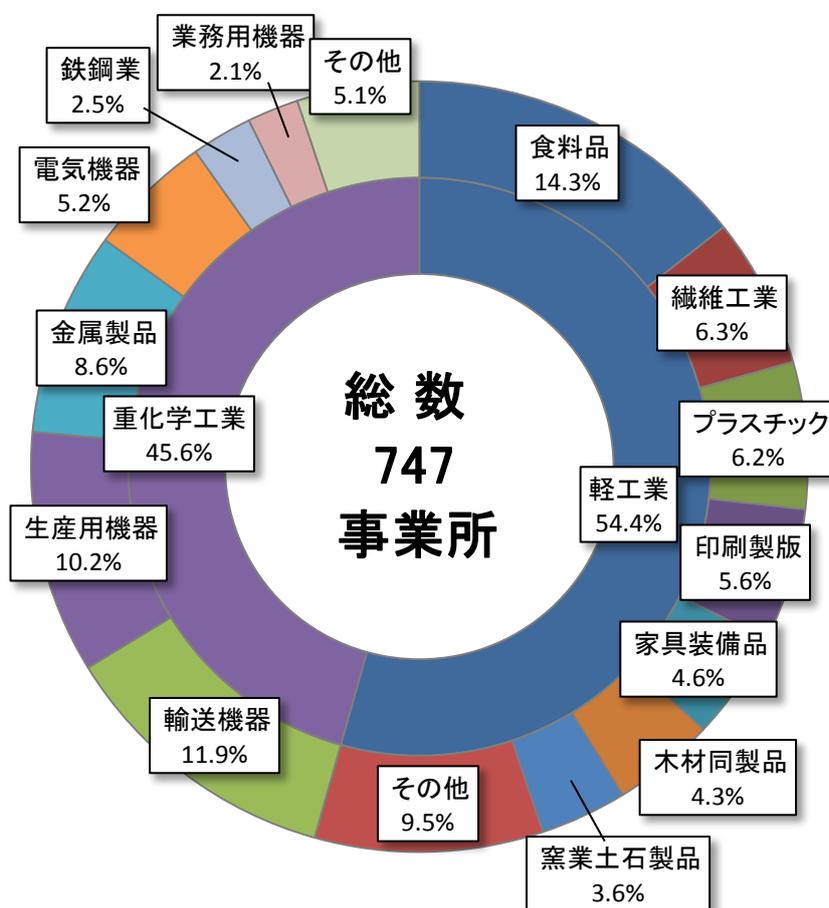


図2-2 従業者規模別事業所数構成比

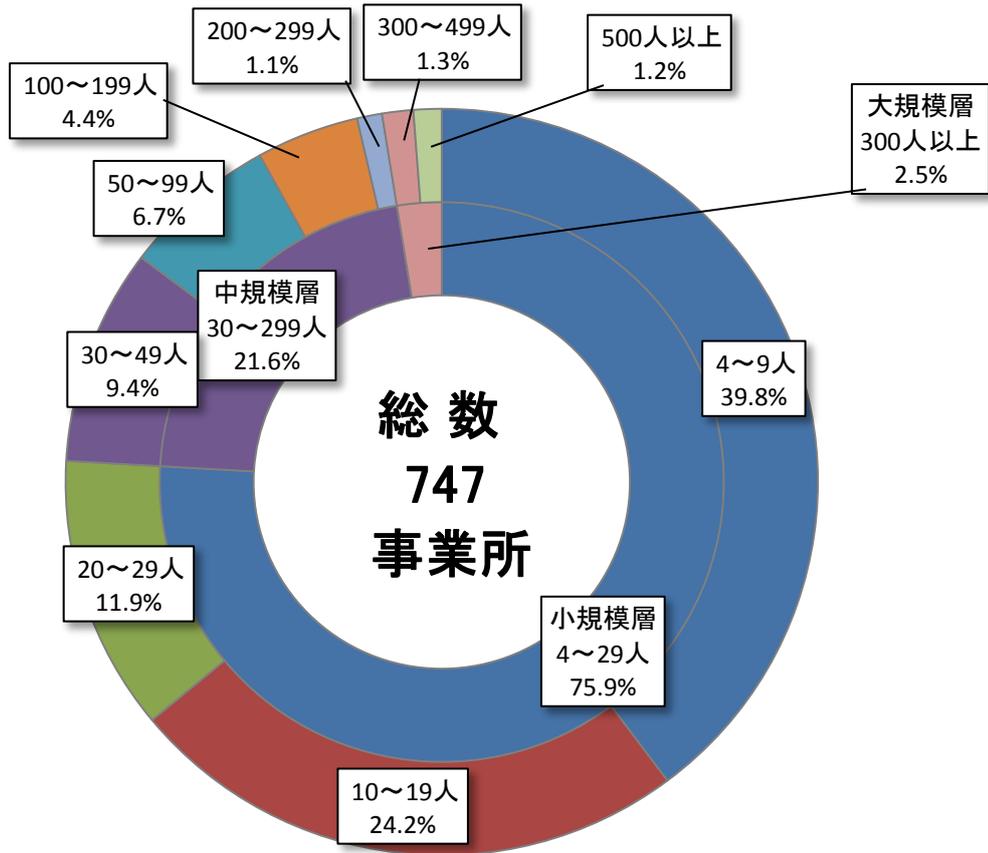
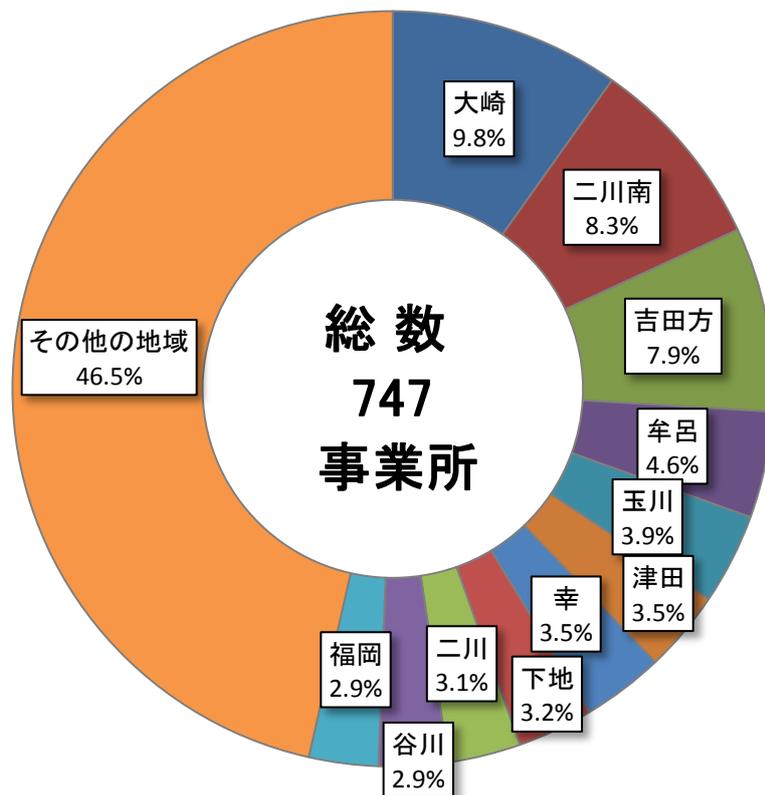


図2-3 小学校区別事業所数構成比



3 従業者数

従業者4人以上の事業所の従業者数は32,081人で平成25年と比べて183人(対25年増減率0.6%)増加しました。

(1) 産業中分類別

産業別でみると、輸送機器が7,930人(構成比24.7%)で最も多く、次いでプラスチック4,530人(同14.1%)、食料品3,938人(同12.3%)、電気機器3,131人(同9.8%)、繊維工業1,669人(同5.2%)の順となっています。

軽工業と重化学工業に分けてみると、軽工業は14,680人(構成比45.8%)で、重化学工業は17,401人(同54.2%)となっています。

(2) 従業者規模別

従業者規模別でみると、従業者数4~29人の小規模層は6,470人(構成比20.2%)、30~299人の中規模層は12,580人(同39.2%)、300人以上の大規模層は13,031人(同40.6%)となっています。

(3) 小学校区別

小学校区別でみると、大崎が9,254人(構成比28.8%)で最も多く、次いで谷川3,812人(同11.9%)、二川南2,683人(同8.4%)、幸1,323人(同4.1%)、植田1,241人(同3.9%)、牟呂1,138人(同3.5%)の順となっています。

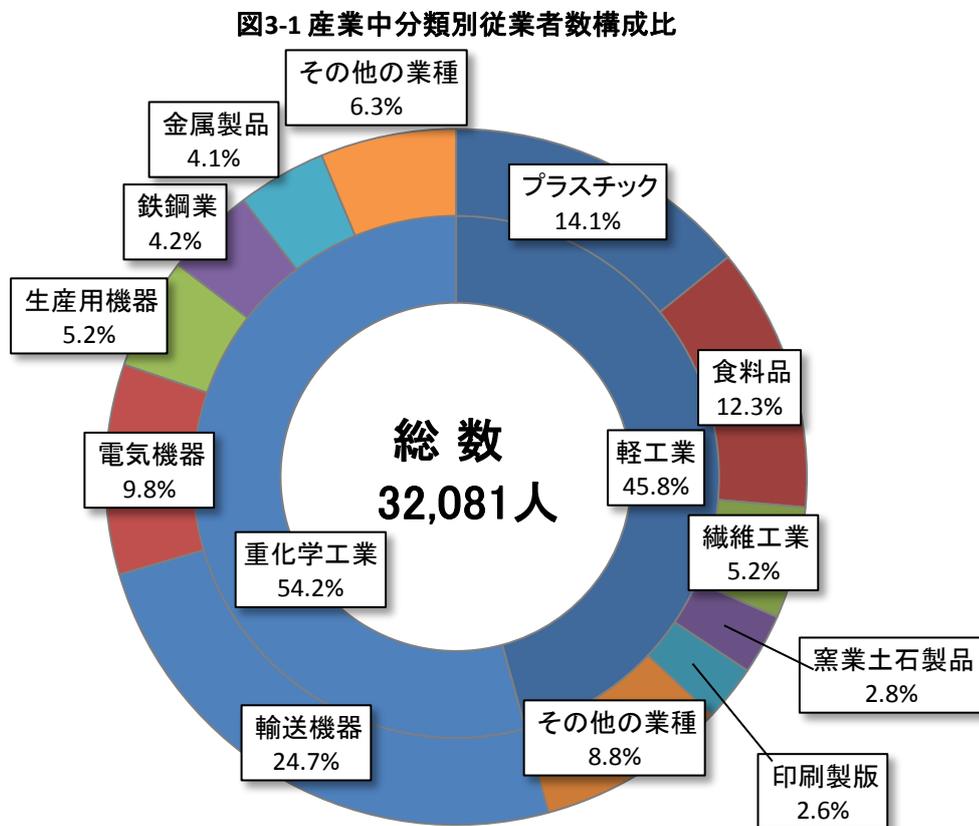


図3-2 従業員規模別従業員数構成比

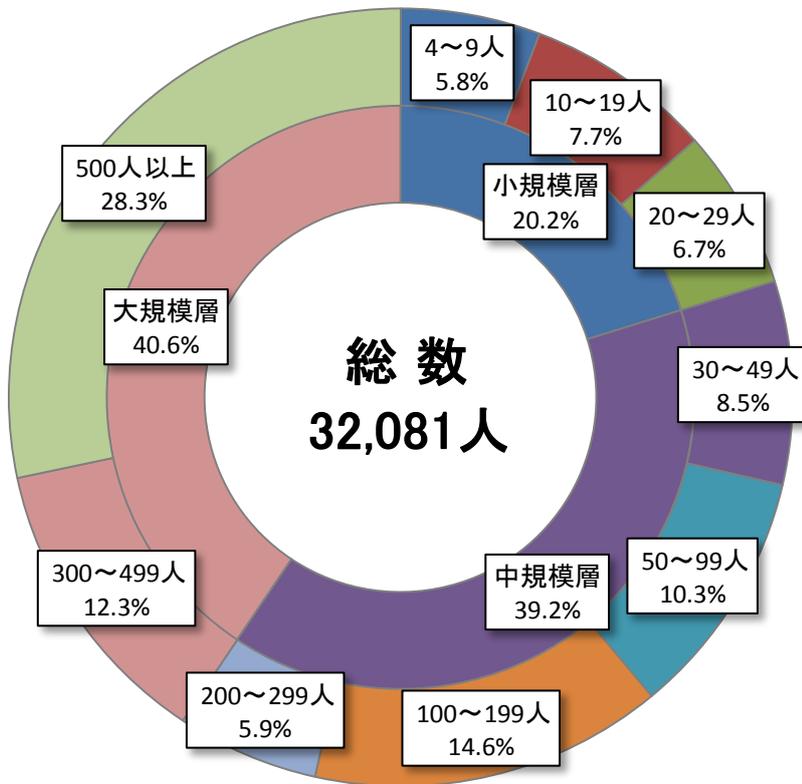
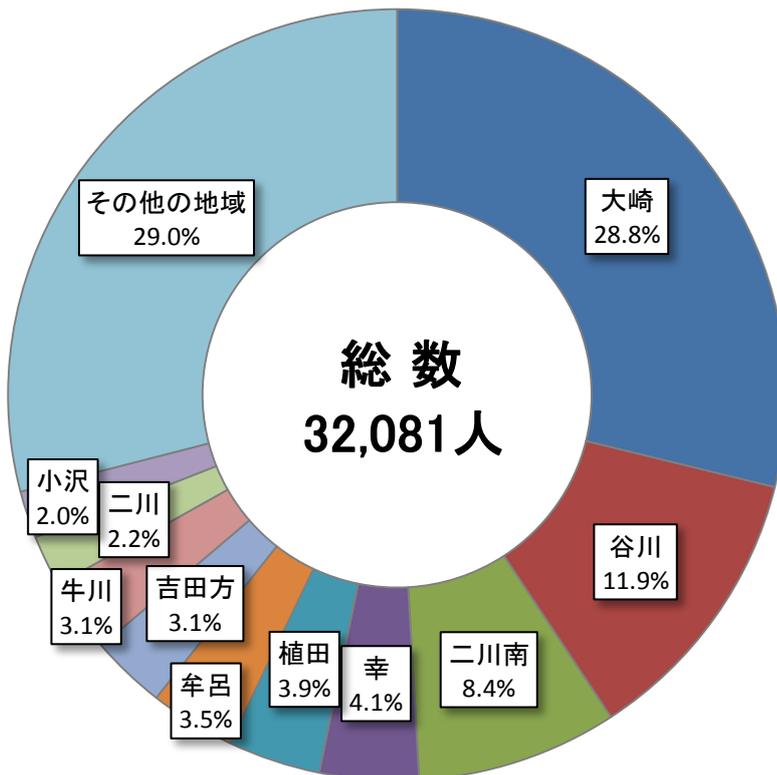


図3-3 小学校区別従業員数構成比



4 製造品出荷額等

従業者4人以上の事業所の製造品出荷額等は1兆2,367億3,097万円で、平成25年と比べて1,100億3,276万円(対25年増減率9.8%)増加しました。

(1) 産業中分類別

産業別でみると、輸送機器が3,575億142万円(構成比28.9%)で最も多く、次いでプラスチック1,736億9,382万円(同14.0%)、食料品1,075億7,442万円(同8.7%)、電気機器1,017億7,078万円(同8.2%)、鉄鋼業904億3,134万円(同7.3%)の順となっています。

軽工業と重化学工業に分けてみると、軽工業は4,725億1,019万円(構成比38.2%)、重化学工業は7,642億2,078万円(同61.8%)となっています。

(2) 従業者規模別

従業者規模別でみると、従業者数4~29人の小規模層は1,132億2,814万円(構成比9.2%)、30~299人の中規模層は4,835億4,738万円(同39.1%)、300人以上の大規模層は6,399億5,545万円(同51.7%)となっています。大規模層が最も大きい割合を占めています。

(3) 小学校区別

小学校区別でみると、大崎が5,814億4,416万円(構成比47.0%)で最も多く、次いで谷川1,759億6,057万円(同14.2%)、二川南809億5,851万円(同6.5%)、牛川405億3,357万円(同3.3%)、牟呂364億2,661万円(同2.9%)の順となっています。

図4-1 産業中分類別製造品出荷額等構成比

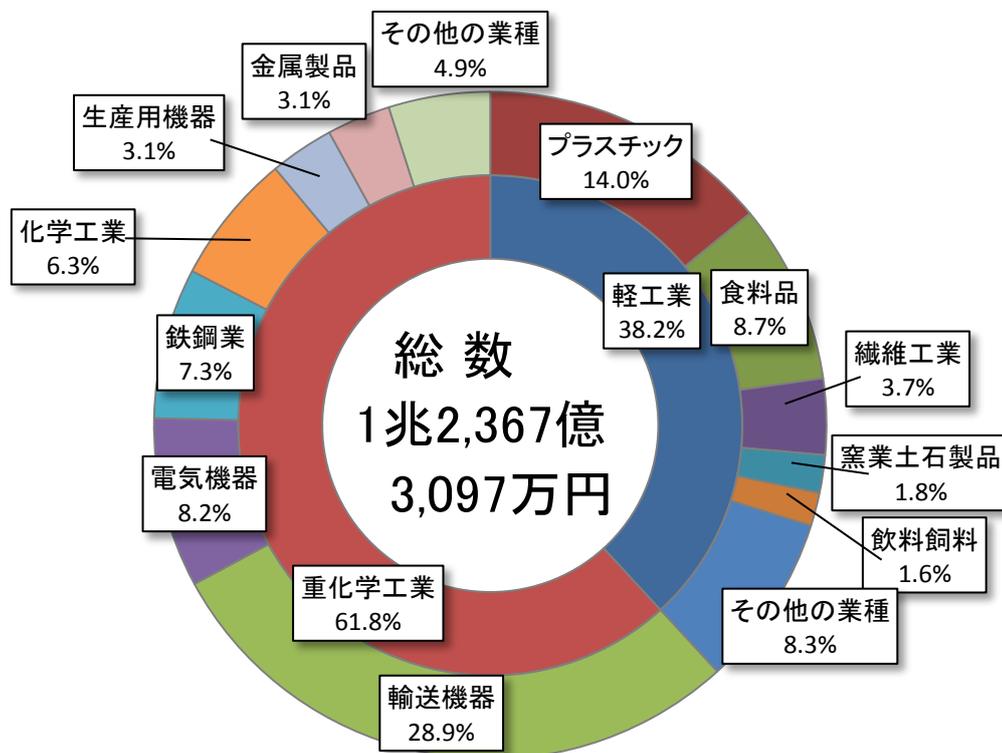


図4-2 従業者規模別製造品出荷額等構成比

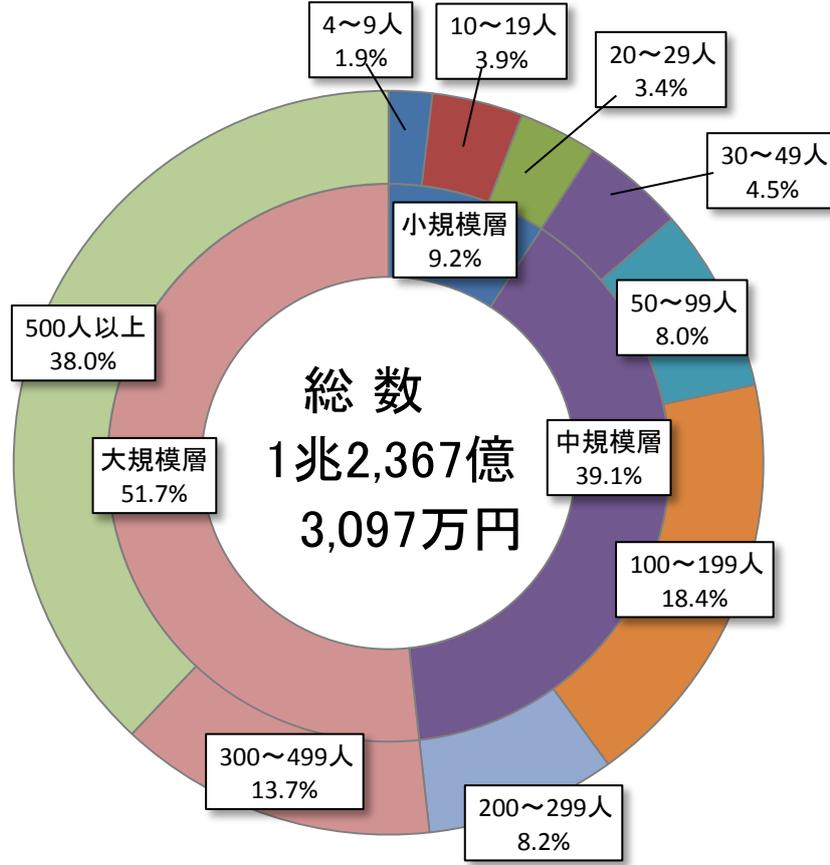


図4-3 小学校区別製造品出荷額等構成比

